

北信大会開催要項(学童の部のみ抜粋)

(はじめに)

本開催要項は、北信大会における取決め事項を記した「北信大会開催要項」のうち、一部学童に関する主要部分のみを抜粋したものである。したがって記載のない事項等は、公認野球規則及び競技者必携、北信大会開催要項（全文）を適用する。

1 公式大会開催要項

(1) チーム構成（大会でベンチに入ることのできる人員）

① 試合出場選手は 10 名以上 25 名以内

② 背番号：監督 30 コーチ 28・29（2 名以内、成人とする。） ※20 歳以上とする。
主将 10 選手 0～99（00 は不可）

③ その他

- ・ チーム責任者（引率責任者で成人であること）・・・・・・・・・・1 名
- ・ マネージャー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 名
- ・ スコアラー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 名
- ・ トレーナー（有資格者）・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 名

(2) 各北信大会の出場チーム数等は、次のとおりとする

○高円宮賜杯全日本学童（春季）

① 出場チーム数

各支部登録チームによるトーナメント戦にて代表の 4 チームを決定する。各ブロックのベスト 4（大会全体ベスト 16＝2 次予選）からは「北信大会」とする。

② 抽選会…各支部総会にて参加チームを確認し、後日改めて抽選会を行う。

○長野県学童選手権（秋季）

① 出場チーム数は、高円宮賜杯全日本学童と同じ。春季大会に出場の成績上位 4 チーム（同成績の場合は、得失点差を考慮）からシード権を与える。

② トーナメント戦とし、北信代表は 1 チーム

(3) 試 合

ア 参加人員

① 学童については、選手 10 名以上 25 名以内とする。

② 試合開始整列時に 9 名の場合は、棄権扱いとする。

③ 態勢が整っているときは、試合開始予定時刻前でも試合を開始する。
（打順表の提出時に説明する。）

イ 集合時刻 ※開会式は行いません

試合開始予定時刻 60 分前までに会場に到着し、本部に届け出ること。

ウ 試合開始時刻

8 時 30 分からとする。

注：都合により、試合開始時刻を変更することがある。この場合は、その都度連絡する。

エ 回 数

試合は、6 回戦とする。

オ 試合時間

- ①試合時間を 1 時間 30 分とする。
- ②1 時間 30 分を経過した場合は、新しいイニングに入らない。
- ③1 時間 30 分を越えて同点の場合は、次項「カ 延長戦」を適用する。
- ④試合が著しく遅延した場合等は、状況により、試合時間を 1 時間 20 分にすることがある。
この場合は、試合開始前に説明する。

カ 延長戦

- ③6 回を完了し同点の場合、または、試合開始後 1 時間 30 分を経過し同点の場合は、いずれもタイブレーク方式により勝敗を決する。~~タイブレークを 2 回行い、同点の場合は抽選とする。ただし、決勝戦は勝敗が決するまで行う。~~←削除

キ 正式試合

- 5 回終了時とする。
- ただし、正式試合とならないとき（得点差に関係なく）及び 5 回以降得点差がなく、降雨・日没等で、当日の試合続行が不可能な場合は、翌日等に特別継続試合とする。
（再試合は行わない。）

ク 得点差によるコールドゲーム

- 4 回 10 点差、5 回以降 7 点差とする。

ケ 外野フェンスのない球場の場合は、ホームランラインを引く。直接ラインを越えた場合は、本塁打とする。ゴロでラインを越えた場合は、ボールデットとし二塁打とする。

2 競技運営等

(1) 打順表の提出

ア 当日、その試合に出場が見込まれる選手

（試合に来るであろうと思われる選手を含めて 25 名以内）を打順表に記載して、監督又は 主将が本部に提出する。（試合開始整列時、10 名以上）

イ 提出時期（打順表が出来上がった時点での提出を推奨する）

- ①当日の第 1 試合は、試合開始予定時刻の 30 分前
- ②第 2 試合以降は、3 回終了時

ウ その他

- ①試合開始後、遅れてベンチ入りした場合は、球審又は本部にその旨通知すること。
- ②打順表は、5 枚複写とする。（チーム…2 枚、本部…1 枚、球審…1 枚、控審判…1 枚）

(3) 競技運営に関する取り決め事項

ア 次の事項については、北信連合会理事長（代行…副理事長）、同審判技術部長（代行…副審判技術部長）および必要に応じ、北信連合会会長並びに主管支部理事長と協議を行う。

- ①試合時間の遅延
- ②降雨及び日没等による中断の再開及び特別継続試合等
- ③内野手間の転送球の必要性
- ④試合日程及び天候等の理由による回数の変更（代表決定戦）
- ⑤その他（クーリングタイムの設定等）

イ 投手の投球練習

シートノックを行わないので、先発バッテリーのみ 3 回打順表交換終了後、投球練習を認める。

- ウ その日の第1試合に出場のチームは、外野に限り練習に使用してもよい。その際、アップ用の服装(同一が望ましい)でもよいが、攻守が決定した時点にはユニフォームに着替えること。
ただし、北信大会に限り、降雨及び特に寒い日は、別途指示する。
- エ 試合前のノック練習は、サイドノックを基本とするが、外野ノックを1か所として認める。
ただし、短時間とすること。
- オ 私服の者(チーム責任者、マネージャー、スコアラー)は、グラウンド内に出ることを 禁
止する。(ユニフォームに背番号のない者も含む。)
マネージャー及びスコアラーは、運動のできる服装でベンチに入ること。
- カ プレーヤー(監督・コーチを含む)のサングラス着用について使用を認めるが野球選手
らしいサングラスとすること。(投手の偏光グラスは使用を認める)
- ク 競技場内のブルペン等でウォームアップを行う際の人数制限について
試合中、ベンチ前のキャッチボールを禁止するが、ブルペン等ファールグラウンドでウォ
ームアップを行う場合は、人数を4名(2組)以内に制限する。
(投球練習時、捕手は保護防具を必ず着用すること。)
- ケ 登録外の者(ユニフォームを着用していない者)がサインを出す行為について
試合中、ベンチに入ることが許されたメンバーであれば、ベンチ内においては誰がサインを
出してもよいものとする。
- コ 投球制限について
①投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、70球/日とし、試合中規定投球数
に達した場合は、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
②投球数の管理は、大会本部が行う。

3 その他

- (1) 競技会において、不正を行ったチーム及び暴力等の行為を行った者に対しては、「長野県軟式野球連盟規約・規程集」に記された規程等を参考に、北信連合会会長が招集する会議に諮り措置する。なお、会議は、北信連合会会長、同理事長、同副理事長、同事務局長、同審判技術部長及び当該主管支部長および審判技術部長で構成する。
- (2) 競技会の運営(降雨等による試合日時及び会場の変更)に関する事項については、北信連合会理事長が当該主管支部と連絡をとりながら、その都度指示するものとする。
- (3) 降雨等による試合日程及び会場変更については、最善の方策を尽くすこととするが、なお、上位大会の日程に照らして、北信代表チームを決めることが困難な場合は、抽選によってこれを決定する。この場合、北信連合会理事長は、関係者に十分な説明を行い、混乱が生じないように努めなければならない。